

### 登園許可証明書提出に伴う出席停止の扱いについてのお知らせ

毎年、インフルエンザ等の流行が全国的に拡大し、当園においても近年、溶連菌や水ぼうそう、インフルエンザ等に園児が感染し、複数のクラスにおいて学級閉鎖を実施した経緯があります。このような状況が今後も発生することが十分に考えられますので、当幼稚園においては、去年に引き続きさらに予防対策を重視し、感染が少しでも最小限に食い止められるよう努めております。

さて、このような状況の中、感染防止のための出席停止期間をより明確にするため、園では今までの欠席（出席停止）連絡を改め、新たに「治癒証明書」を発行することに致しました。下記をよくご熟読頂き、①から③に該当する場合は、登園する際にこの証明書をご提出して下さい。お手数ですがご協力の程宜しくお願い致します。

① 法定伝染病（次頁参照）にかかった場合

かかりつけのお医者様に記入して頂き、登園許可をもらってください。園では他のお子様への感染を防ぐため、表の「要」のいずれについても必ずご提出ください。提出がない場合は登園できません。

② ご家族が法定伝染病にかかった場合

ご家族に感染された方がいらっしゃる場合も、感染の恐れがあれば無理をせずお休みさせてください。その際、証明書にご家族の方の症状やお休みする理由をお書き頂き、ご担当医に登園可能日をご相談ください。この証明書の提出により出席停止の処置となり、欠席扱いにはなりません。提出のない場合は欠席となります。

③ 参考表 ※の病気について

出席停止の処置にはなりません。他のお子様につらい処置をして頂ければ登園は可能です。無理をせずお休みされる方は②同様、証明書の提出により出席停止の処置となり、欠席扱い致しません。

\*この手紙は大切に保管して頂き、この用紙をコピーしてお使いください。また、当園のホームページにもアップしてありますので、プリントアウトしてお使いください。

~~~~~ 切 り 取 り 線 ~~~~~

### 登園許可証明書

学校法人 上甲子園幼稚園  
園長 中山 道代 殿

組 園児名 \_\_\_\_\_

疾病名 : \_\_\_\_\_

上記の者、令和 年 月 日より、令和 年 月 日までを出席停止期間とします。

- 診断の結果、  病気が全治しましたので、集団生活に支障はありません。  
 伝染の心配がなくなりましたので、集団生活に支障はありません。  
 伝染の心配はありませんので、プールの入水も可能です。

上記の者、令和 年 月 日 から登園を認可致します。

記入日 令和 年 月 日

病院名 ( \_\_\_\_\_ ) 御担当医名 \_\_\_\_\_

| 病名                                                                                                            | 主な症状                                                                                      | 登園停止期間と目安                                          | 証明書 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----|
| エボラ出血熱、クリミアコンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS コロナウイルスによるものに限る)、鳥インフルエンザ(H5N1 に限る) |                                                                                           | 感染源となりうる間は原則入院、治癒するまでは出席停止                         | 要   |
| インフルエンザ                                                                                                       | 発熱、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、咳、鼻汁                                                                  | 発症後(症状が出て)5日、かつ解熱後3日を経過するまで                        | 要   |
| 百日咳                                                                                                           | 最初風邪のような咳、その後発作性の咳込みを反復                                                                   | 特有の咳が消失するまで、または5日間の抗菌剤による治療終了まで                    | 要   |
| 麻疹(はしか)                                                                                                       | 最初2〜3日かぜ症状、発熱。その後さらに高熱、発疹が広がる                                                             | 解熱後3日を経過するまで                                       | 要   |
| 流行性耳下炎(おたふく)                                                                                                  | 耳下腺、顎下腺、舌下腺腫脹、発熱                                                                          | 耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が出て5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで           | 要   |
| 風疹(三日ばしか)                                                                                                     | 発熱と同時に発疹、リンパ節腫脹                                                                           | 発疹が消失するまで                                          | 要   |
| 水痘症(水ぼうそう)                                                                                                    | 腹部、背中から全身に広がる丘疹が水疱、痂皮へと変化する                                                               | すべての発疹が痂皮化するまで                                     | 要   |
| 咽頭結膜熱(プール熱)<br>(アデノウイルス感染症)                                                                                   | 発熱、咽頭痛、眼球充血、眼脂                                                                            | 主要症状が消退した後2日を経過するまで                                | 要   |
| 結核                                                                                                            | 咳、発熱、全身倦怠                                                                                 | 感染のおそれがないまで                                        | 要   |
| 髄膜炎菌性髄膜炎                                                                                                      | 高熱、吐き気、項部硬直(首が硬い)、精神症状                                                                    | 感染のおそれがないまで                                        | 要   |
| コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス                                                                                          |                                                                                           | 医師が感染のおそれがないと認めるまで                                 | 要   |
| 腸管出血性大腸菌感染症                                                                                                   | 水様性下痢、血便、腹痛、発熱                                                                            | 主な症状が消失し医師が登園可能と認めるまで                              | 要   |
| 流行性角結膜炎                                                                                                       | 眼球充血、眼瞼腫脹、眼脂                                                                              | 医師が感染のおそれがないと認めるまで                                 | 要   |
| 急性出血性結膜炎                                                                                                      | 流涙、眼球充血、眼瞼腫脹                                                                              | 医師が感染のおそれがないと認めるまで                                 | 要   |
| 溶連菌感染症                                                                                                        | 発熱、咽頭痛、莓舌、全身の発疹                                                                           | 抗生物質治療開始後24時間を経て全身状態がよければ登園可能 長くて初診日と翌日を出席停止にすればよい | 要   |
| ウイルス性肝炎(A・B・C型)                                                                                               | 発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、右季肋部痛、黄疸                                                                   | A型肝炎は肝機能が正常化すれば登園可能 B、C型肝炎の無症状病原体保有者(キャリア)は登園可能    | 要   |
| 感染性胃腸炎<br>(流行性嘔吐下痢症)                                                                                          | 嘔吐、下痢、腹痛、発熱(ノロウイルス、ロタウイルス、0-157等)                                                         | 主な症状が消失し、全身状態のよい者は登園可能                             | 要   |
| ヘルパンギーナ                                                                                                       | 発熱、咽頭痛、咽頭小水疱                                                                              | 主な症状が消失し、全身状態のよい者は登園可能                             | 要   |
| マイコプラズマ感染症                                                                                                    | 頑固で長期にわたる咳、発熱                                                                             | 症状が改善し、全身状態のよい者は登園可能                               | 要   |
| 伝染性紅斑(りんご病)                                                                                                   | かぜ症状の約1週間後、両頬の紅斑。四肢、体幹にも広がることあり                                                           | 紅斑出現時元気な状態であれば登園可能                                 | 要   |
| 手足口病                                                                                                          | 手足口に丘疹、水疱、口内疹、口内痛                                                                         | 食事ができて元気がよければ登園可能                                  | 要   |
| 頭しらみ ※                                                                                                        | 頭髪に虫卵が付着、頭のかゆみ                                                                            | 駆除に努めながら登園可能                                       | 要   |
| 水いぼ(伝染性軟属腫) ※                                                                                                 | 粟粒大から小豆大の小さい水いぼ                                                                           | 合併症がなければ登園可能                                       | 要   |
| 伝染性膿痂疹(とびひ) ※                                                                                                 | 皮膚に水疱ができ、破れてびらん面をつくる                                                                      | 感染のおそれがないと認めるまで(確実にガーゼで覆い接触感染を防ぐこと)                | 要   |
| 突発性発疹症                                                                                                        | 発熱が2〜4日続き、解熱後に発疹                                                                          | 解熱後元気であれば登園可能                                      |     |
| その他                                                                                                           | 熱(37.7℃以上)、下痢(水溶性・血が混じる)、嘔吐(2回以上) 発熱を伴う湿疹、のどの痛み、ひどい咳、眼やに、必要以上に不機嫌だったり、泣きやまない時、過剰にかまってほしい時 | 登園は控えましょう                                          |     |